「じゃがいも」根性で頑張っています

小原　朝子（初教12期生）

そちらでは梅雨の気配。こちらは、桜の花が満開。違うものですね。

さて、北海道で4度目の春を迎えた今年はぴっかぴかの1年生を担任。見ているだけでほほえましく、毎日新鮮です。

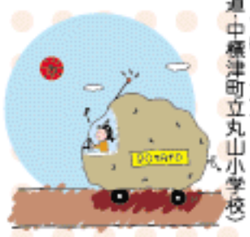
例えば、鼻水をなめたり、突然おならをしたり、またあるときは学校帰りにランドセルを背負ったまま池に落ち、びしょぬれで学校に戻ってきた子もいました。

こんな子ども達との毎日を学級通信に記録として残すことが私の楽しみです。タイトルは「じゃがいも」。北海道のじゃがいもは、見た目はごつごつしていてかっこ悪いですが、味は抜群。だから、じゃがいものように泥んこになりながら少しづつ時間をかけて心が大きくなるような味のあるふれあいをしていきたいなあという気持ちです。

それにしても、がさつな私は失敗の連続。先日、職員室で伸びをしていたところ椅子に座ったまま転倒。後ろに置いてあったソファーまで倒してしまう始末。「一年生と同じでしょー」と爆笑されてしまいました。

「北海道でやっていけるかしら？」と思っていた三年前。そんな不安も今となってはどこへやら…。

（北海道・白糠町立丸山小学校）



「生涯学習だより」から

PS．小原朝子さんとは、今もよく連絡をとり合っています。彼女から「生涯学習だより」（二〇〇二年二月号）（中標津町教委発行）も送ってもらいました。小原さんのことが大きく取り上げられています。小さくなってしまうかも知れませんが、この「かわらばん」に載せてもらいたいと思います。

（伊藤　裕康　談）

座談会　社会人入学をして

二十一期生　松本　真由美
九期生　東　由水枝
二十期生　小村　瑞与
（司会・進行）

小村　今日は、社会人入学をされた方々にお集まりいただき、どんな希望をもって文教に入られたのか、はたまた将来のことなど、お話してもらいたいと思ってマース！

東　まーぁ、相変わらず小村さんは元気いっぱいねえ。（笑）私は、卒業してかなり経つんだけど（九期生）呼んでもらってありがとう。

私は、けっこう大きな夢をもって入ったのよ。以前に二年間滞在していた海外での体験から、将来は日本と友好的な関係にあるオーストラリアで、小学生に日本語を教えたいなぁ、という希望があったの。そして、ゆくゆくは移住して、日本文化も伝えたいなぁ、と。やっぱり、そのためには、初等教育のことをしっかり勉強しておかなきゃあいけないでしょう。へーえ、すごいですね。

小村　私（二十期生）の場合は、司書教諭を目指すため、この大学に入ったんです。人と人の出逢いとよく似ていて、本との出逢いは、人生を豊かにすると思うんです。「読書は自分探しなんだよ。生きるってたのしいね。」…そんなことが話れる教員になりたいって思っていました。

ちょうど、かたすぎましたかね。（笑）

松本　そんなことないですよぉ。立派だわぁ。

私の場合は、以前に短大で初等教育を学んでいたんです。採用試験にもトライしました。が、結果は散々で、一般の会社に就職することにしたんです。社会人になっても、「本当にこのままでいいの？」って、終わりの見えないモヤモヤに、いつも悩んでいました。そこで出た答は、「自分のやりたいこと、今やらないと後悔する。」でした。同じ後悔するなら、やるだけやって、それでも駄目だったら諦めの方が、自分も納得がいくはずって。

それで、ここを受験して、入れたってわけです。すいません、長くなっちゃって。（笑）

小村　いいの、いいの。じゃんじゃん喋って！（笑）いろんな夢や思いがあったっていうことですね。みなさん。

まあ、私は、現在「いってらっしゃいママ」「お帰りなさいママ」（我が子にとっては、こうなんです。）の生活も一年が終わりました。今年、二年目に入りました。家族の愛と仲間の笑顔に支えられていますよ。文教に来て本当によかったぁ、と痛感しています。

東　そう、そう。感謝の気持ちが大事よね。私も、同じだったわ。

小村さんや、今二年生の松本さんや田中さんを見ていると、とても輝いている気がする。

ありがとうございます。それは、文教が、私の「やる気」を、あたたかく受け入れてくれる場所だからですよ。そして、日々たくさんの驚きと発見があるんです。

松本　仮に、もし後で、「やっぱり社会人入学して、間違いだったかな。」と思ったとしても、自分自身、今の自分がとても大好きです。

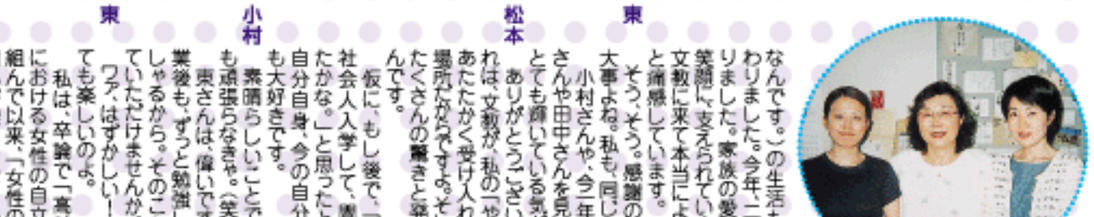
小村　素晴らしいことですね。私も頑張らなきゃ。（笑）

東さんは、偉いですよね。卒業後も、ずっと勉強していらっしゃるから。そのことを話していただけませんか。

東　ワァ、はずかしい！でも、とても楽しいのよ。

私は、卒論で「高齢化社会における女性の自立」に取り組んで以来、「女性の自立」に関心が深くなって、今では「ジェンダー」、特に「ジェンダー」フリー教育」を研究しています。さらに研鑽を積んで「男らしく」「女らしく」という問題を乗り越えて、「自分らしく」生きていかれる社会を目指したい、と思うんですよ。それを考え続けていくには、もっとステップアップする必要があるのが今現在の夢ー

小村　ありがとうございました。私たち現役生にとって、何よりの刺激と激励になるお話をうかがったように思います。



左から松本さん、東さん、小村さん

幼稚園教諭…なってヨカッタァ！

今田　陽子（初教12期生）

かわいい園児とともに

安佐動物園の近くにある、お山の上の幼稚園。

春に山イチゴ、夏には虫たち、秋にはお芋とどんぐり、冬には雪…と、自然いっぱいの中で子どもたちと過ごして6年目を迎えました。

2001年4月―3歳児のクラス担任として、新たなるスタート。おうちの人と離れて初めての集団生活に不安や戸惑いが、いっぱいの子どもたち。「幼稚園ってどんなところなの？」「どんな遊びがあるの？」とアンテナを張りめぐらせている子どもたちとの生活は、日々発見があり、ハプニングもあり、全身全霊を使って過ごしています。幼稚園は楽しいところです。仕事としては、かなりハードな職業です。子どもたちの日々の様子、保育の反省、おうちの方との伝え合い、行事に向けての取組みなど。「子どもが好きだけでは決してできない仕事でしょう。

でも、人格形成の土台となるこの時を共にする喜びは、この仕事にはお休みでした。田中さんも、子育てをしながら、しっかりと勉学に励んでいらっしゃいますので、この場を借りてお伝えし、座談会を終わります。みなさん、ありがとうございました。

（ア）

松本　松本さん、私たちも頑張ろうネー

小村　はい、頑張りマース！

なお、この日は都合があって、田中留美さん（二十一期生）は お休みでした。田中さんも、子育てをしながら、しっかりと勉学に励んでいらっしゃいますので、この場を借りてお伝えし、座談会を終わります。みなさん、ありがとうございました。

（ア）

オリゼミの今

以前と変わって、学科主催となったオリゼミ（新入生歓迎オリエンテーション・セミナー）。その実行委員をし、「かわらばん」編集スタッフにも加わった小野・永見コンビが報告します！（今方言）

オリゼミどうじゃった？

ナ　ぶち疲れたー。でも、楽しかったね。

オ　うんー めっちゃ楽しかったし、すごい、いい勉強になった。だって、大学とかって人数が多いけー、みんなで何かをするっていうことが、めったにないじゃん。で、入学して「第目の大きい行事が、笑って楽しく交わる笑楽交イコール、オリゼミで、去年すごい楽しかったけー、今年の1年生にもこれからの大学生活が、いいものになるような、そんなきっかけになればいいな、っていうのがあったんよねー。実は…。

ナ　それっちゃねー。去年、すごい先輩方に感動したもんね。

オ　よく動くなぁて、思いながら見よった。

ナ　うん、じゃけー今年もだいぶ工夫したよね。せっかく三瓶に行くんやから、ってオリエンテーリングも企画したよね。

オ　結局雨が降ってできんかったけど。来年はぜひ、やってもらいたいね。

ナ　本当にくやしかったよね。泣きそうじゃったもん。でもバレーも楽しかったよね。

オ　あと、方言クイズと絵合い、楽しかったね。

ナ　それっちゃ。ぶち盛り上がったよね。結構同じ出身でだけで、かなり嬉しかったりするよね。

オ　うちらのパフォーマンスどうじゃったんじゃろーね。自分らはすごい楽しかったけど、歌詞カード（明日があるさ　文教バージョン）を直前に配れば良かったね。

ナ　そうやね。そこまで気がまわらんかったね。それより、野外炊飯おいしかったね。

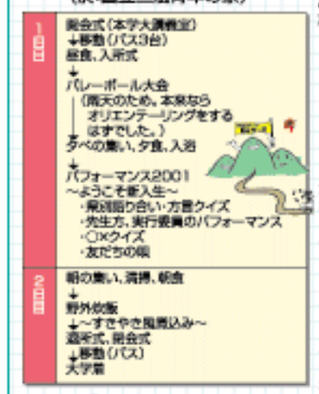
オ　うん。いつも野外炊飯っていったらカレーばっかりじゃけー、今回すき焼き風煮込みにして正解やったね。でも、ちょっと出来上がり時刻が早すぎたね。

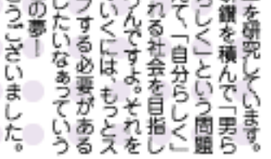
ナ　それっちゃ。意外に簡単じゃったね。しかも、家にも作れるよね。おいしいし。まあ、何はともあれ、無事に終わって良かったね。来年は何するんじゃろうなあ。

オリゼミの流れ
（於：国立三瓶青年の家）

1日目
- 開会式（本学大講義室）
- ↓移動（バス3台）
- 昼食、入所式
- ↓
- バレーボール大会（雨天のため、本来ならオリエンテーリングをするはずでした。）
- 夕べの集い、夕食、入浴
- ↓
- パフォーマンス2001 ～ようこそ新入生～
  - ・果敢語り合い・方言クイズ
  - ・先生方、実行委員のパフォーマンス
  - ・○×クイズ
  - ・友だちの輪

2日目
- 朝の集い、清掃、朝食
- ↓
- 野外炊飯 ↓～すきやき風煮込み～
- 表彰式、閉会式
- ↓移動（バス）
- 大学着





元気一杯の二人　小野さん、永見さん

レポーター　オ：小野 由美子（四国女子短大出身、心理コース）
ナ：永見 千尋（広島学園出身、幼教コース）

初教の仲間からひとこと

（平成12年8月現在）

～「広島文教教育」の返信ハガキより～

（　）は旧姓

幼教22期　藤井（今川）　恵美
4歳、2歳、7か月の子育て奮闘中です。夏休みともなれば、毎日が幼稚園のようです。にぎやかで楽しさ半分、大変な日々を過ごしています。

幼教23期　柴崎（智津香）（小田）
息子も早くも10か月で、来月より自分の勤めている保育園へ連れて行きます。1年の育休もあっという間にすぎようです。この度、家を建てることにしたので、バリバリと楽しく働きたいと思っています。

幼教24期　高田（千歳）（河内）
5年間保育にたずさわってきましたが、やめました。今は子どもが生まれ、育児をしています。幼教時代の本を引っ張り出してきて、再度勉強勉強です。1日が早いと感じますが、おかげさまで気持ちで接することができ、毎日が楽しいです。

幼教7期　照井（由美）（小林）
ただ今、2歳の娘の子育て中です。10月末には2人目の出産予定です。学生時代に先生方に学んだこと、専修のみんなと語り合ったこと、今の子育てにとても役だっています。「教育」って本当に生涯のテーマだなと感じる今日この頃です。

初教8期　菊川　恵子（堀田）
育休を終え、8月に復帰しました（小学校勤務）。双子をかかえての仕事。これから先、どんな生活になるのか不安がいっぱいです。夏休みには、ウォーミングアップのつもりで、毎日楽しく出勤しています。1年休んだせいか、新鮮さがあり、はりきっています。

初教9期　江角　芳子
今年度、新しく開校した益田養護学校に勤務しています。障害のある子どもたちから日々多くのことを学んでいます。

初教10期　藤原　泉（日名子）
来年2月には第2子が誕生することになりそうです。子育ての大変さとちょっぴり多い楽しさを同時に味わっています。タイムマシーンに乗って学生時代に戻ってみたいなと思える日々の頃です。初教のご発展を心よりお祈り申し上げます。

初教11期　小野　留美（小島）
1歳3か月になる娘と日々楽しい毎日を送っています。教員にはならなかった私ですが、一人の母親としては、学校教育にはとても関心があります。また、久しぶりに先生方や友人達と話してみたいです。

初教12期　高橋　志保
学童の指導員になり、3年目です。学生の時と変わらず、真っ黒に日焼けして外で元気に子どもたちと遊んでいます。

初教13期　楠木　優子（廣田）
もうすぐ2歳になる長男と毎日けんかをしながら過ごしています。初教で学んだことや幼稚園教諭としての実践は、今になって育児サークルの中で役立っています。
保育士試験にも挑戦しています。

初教13期　廣山　知佳子
2年半の臨採を経て、今年度新採用として尾道で勤めています。2年生21名の担任です。かわいい子どもたちに囲まれて楽しい毎日ですが、その反面、わからないことが多く、自己嫌悪におちいることもしばしばあります。元気にがんばっています。

初教13期　大石　佳代子
就職して3年5か月が過ぎようとしています。大学生としての4年間も早かったけれど、社会人になってからの方がずいぶんと時間が早く流れています。相変わらず、ブランダルのお仕事、楽しんでいますヨー

初教14期　金築　慶子
本採1年目で、1学期は毎日学校で悪戦苦闘していました。が、実家の下関でのミュージカルと仕事と充実した1学期でした。

初教15期　瀬尾　久美
ピアノ講師も2年目になりました。1歳6か月から大人の方まで年齢は幅広いです。勉強することもまだまだ多くてたいへんですが、がんばってますヨ。

初教16期　末盛　史香
音楽専科の非常勤講師をしています。今は夏休みなので、音楽科の研修などに参加して、勉強しています。楽器で、子どもたちと関わっていると、いろんな発見があります。様々な考え方の先生方に出会って、充実した毎日を送っています。